

豊科南小学校だより(南)

平成28年11月22日発行

No.4

<学校教育目標> 自分を生きる子
豊かに生きる子
ともに生きる子

安曇野市立 豊科南小学校
〒399-8205 安曇野市豊科 2723
電話：0263-72-2154
FAX：0263-72-3261

2学期の行事から

11月も後半となりました。徐々に寒さが増し、体調管理に気をつけたいこの頃です。ご家庭の皆様はお元気でお過ごしでしょうか。

さて、11月下旬となり、2学期も残り1か月ほどとなりました。10月21日(金)の音楽会の折には、大勢の皆様にご来校いただき、子どもたちの音楽発表をご覧いただきました。ご参観いただきました地域の皆様や保護者の皆様から、今年も、「感動的な素晴らしい音楽会だった。」などの温かいお言葉をいただきました。PTAの皆様にも、早朝より駐車場案内、会場整理等お力添えをいただきました。心より感謝申し上げます。

11月には、ふれあい講演会、授業参観等を予定通り行うことができました。先日の公開参観日にも大勢の皆様にご来校いただきありがとうございました。ふれあい旬間に寄せて、まわりの人たちとのよりよい関係を築いていくための関わり方、お互いの考え方を尊重すること、様々な情報が飛び交う現代社会で我々が気をつけていくべきこと、社会一般の人権問題について考えること等、人権教育に関わる授業を行いました。授業参観のあとは、今年も百瀬敬子先生をお招きしてPTA講演会を行いました。神保会長さんはじめ、PTA役員の皆様、大変ありがとうございました。百瀬先生からは、「子どもの自信とやる気を引き出す関わり方(勇気づけ)」と題し、尊敬・信頼・共感を軸にしたアドラー心理学の立場で、保護者のあり方・教師のあり方・問われる全ての信頼関係が教育の基本であること、自己肯定感を高める言葉かけ、接し方、わたしメッセージによる勇気づけ等について、お話しいただきました。子どもとの話し方や声のかけ方など、子どもとの関わりについて振り返るよい機会となりました。講演会にも大勢の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

早いもので、もう師走の足音が聞こえてきます。2学期の登校日数は、残り24日程となりました。健康・安全に留意し、子どもさんが元気に冬休みを迎えられるよう、引き続き保護者の皆様のお支えをよろしくお願ひします。

全国学力学習状況調査(6学年)の結果から

すでに6年生の保護者の皆様にはお知らせしましたが、今年4月に6年生が行った全国学力学習状況調査の結果についてお知らせします。数値の公表はいたしません、本校6年生の結果は、おおむね良好でした。以下は、各教科と問題別に本校6年生の平均正答率を全国・長野県と比較した結果です。

1 国語A(主として「知識」に関する問題)

本校6年生の平均正答率は、全国(公立)、長野県とも上回っている。

- ・日頃からの繰り返しの学習の成果で、漢字の読み書き、聞くことなどの基礎的な知識は身につけている。
- ・ローマ字の読み書きや特別な読み方をする漢字の理解が十分とはいえない。該当学年以外で扱う時間が少ないため、定着しにくいものと考えられる。

2 国語B(主として「活用」に関する問題)

本校6年生の平均正答率は、全国(公立)、長野県ともすべて上回っている。

- ・「話す・聞く」領域・「書く」領域・「読む」領域のすべてで全国・県の平均正答率を上回っているが、「内容を整理して書く」こと、「文章と関連づけて自分の考えを書く」ことにやや課題がある。

3 算数A(主として「知識」に関する問題)

本校6年生の平均正答率は、全国(公立)、長野県とも上回っている。

- ・「数と計算」の領域では「小数のわり算におけるわる数と商の関係」や、「かけ算とわり算との関係」、「繰り下がりのある引き算」の理解に課題がみられる。
- ・「数量関係」の領域では三角形の底辺と高さの関係についての理解に課題が見られる。

4 算数B(主として「活用」に関する問題)

本校6年生の平均正答率は、全国(公立)、長野県とも上回っている。



感動の音楽会
6年生のステージから



ふれあい講演会 広沢
里枝子先生、ジャスミン
ちゃんありがとう。



- ・「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」すべての領域で全国、県の平均正答率を上回っているが、正答率は高くない。

5 学習状況調査

- ・毎日、決まった時間に寝起きしている児童の割合が全国・県を上回り、就寝時間も早めである。また、テレビやビデオ、ゲームにかかわる時間は少なめであるが、家庭での学習時間も少なめである。
- ・地域の行事に参加している児童の割合は全国よりも高く、地域や社会の出来事に関心がある児童の割合は、県、全国よりも高い。
- ・自分にはよいところがあると考える児童の割合は、全国、県よりも低い。一方、将来の夢や目標をもっている児童の割合は、全国、県よりも高い。
- ・学校で友だちに会うことを楽しいと考えたり、みんなで協力して何かをやり遂げてうれしかったと考えたりしている児童の割合は全国・県を上回っている。一方で、いじめはどんな理由があってもいけないことだと考える児童の割合は、やや低い。
- ・国語や算数の学習が好きである児童の割合、これらの学習が将来役に立つと考えている児童の割合は、ともに全国、県を下回る。一方、「総合的な学習の時間」は好きであるとする児童の割合は、県、全国よりもかなり高い。

6年生の保護者の皆様には、具体的な指導の方向をつけて通知をお配りさせていただきました。学習状況調査にあるように、基本的な生活習慣をきちんと身につけておくこと等が、学力向上にもつながり、子どもたちの心身の健やかな成長のためには欠かせません。ご家庭の皆様のご協力を引き続きお願いいたします。

6年生は小学校生活が残り4か月余りとなりましたが、一日の生活リズムを整えるとともに、小学校の学習内容をしっかりと身につけて中学校に進んでほしいと思います。

教職員の研修会から お知らせ

教職員の研修会で、最近次のことについて保護者の皆さんにお知らせしてほしいとの連絡がありました。

- 1 ネットトラブルの防止について 複数で撮った子どもたちの写真がある親御さんが断りなくネット上にアップしてトラブルが生じるケースがありました。
- 2 県内のある地域で、ポケモンGOに夢中になり、夜中でも公園などに小中学生がたむろして行っていたケースがありました。夢中になることによって、お子さんが問題行動を起こしたり、事故に遭ったりしないようご注意ください。
- 3 長野県子どもを性被害から守るための条例が11月1日より施行されました。条例の主な定めとして、
①県は、県民と一緒に子どもを性被害から守るための取り組みを進めること ②大人の責任を明記したこと
③子どもを心理的に圧迫したり、だましたり、どうしていいかわからない状態にしたりして、性行為（性的接触）、わいせつな行為をすることを禁止すること（違反：2年以下の懲役または100万円以下の罰金） ④保護者の同意を得ないで深夜（11時～翌日午前4時迄）に子どもを連れ出す行為を禁止したこと（違反：30万円以下の罰金） ⑤禁止行為をした大人に対する罰則を設けたこと があります。

学校における相談窓口について

これまでもお伝えしておりますが、本校、南校舎1階に適応指導員が一日、子どもと親の相談員が午前、勤務している「相談室」という部屋があります。子どもさんのことで、何かご相談したいことがありましたら、どうぞ遠慮なくお声をかけてください。また、保健室も「からだのなやみ相談室」として位置づけております。その他、学校長や教頭も、随時ご相談をお受けしますので、気になることがありましたら、そちらにもお気軽にお声がけください。



非違行為根絶に向けての取り組み

教職員の不祥事防止の取り組みについては、これまでも保護者の皆様にお知らせしている通りです。2学期に入り、県内他校で教職員のわいせつ行為、青少年保護育成条例違反、飲酒運転による摘発等が発生し、県教育委員会から、不祥事根絶・取り組みの徹底の指示がありました。

本校においては、今月15日に「今回の不祥事に関わる非違行為防止研修会」「子どもを性被害から守るための条例研修会」を行いました。グループワークでは、教職員から「子どもたちや保護者の皆さん、自分の家族の悲しみを考えれば、絶対にしてはいけないと思う。」「信頼を裏切るようなこと、心に傷を負わせるようなことは絶対にしてはならない。」等の発言が聞かれました。

今後も、資料や外部講師による研修等を通して、交通法規の遵守、個人情報保護、体罰防止等について取り組んでまいります。